

教科目名 環境計画 (Environment Programme)

学科名・学年 : 都市・環境工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ○科目)

単位数など : 選択 1 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 高見徹

授業の概要			
本科目は、4 学年で学習した「都市計画」と環境工学の境界領域の具体的事例として、国・県・市が策定した環境基本計画について学ぶ。また、これらの基本計画の背景となっている国連開発計画 (UNDP) の持続可能な開発目標 (SDGs) の各項目について学ぶ。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2), JABEE 目標 (2.1⑤)	
(1) 環境基本法における環境基本計画の位置づけを説明できる。(定期試験)			
(2) わが国の第四次環境基本計画の概要を説明できる。(定期試験)			
(3) 第四次環境基本計画における総合的環境指標を説明できる。(定期試験)			
(4) 大分県および大分市の環境基本計画の概要を説明できる。(定期試験)			
(5) 国連開発計画 (UNDP) による持続可能な開発目標 (SDGs) の概要を説明できる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	環境基本計画とは	○わが国の環境基本法における環境基本計画の位置づけ, 策定の流れ, 歴史を理解する。	【理解の度合い】
2	第四次環境基本計画Ⅰ (環境の状況と環境政策の展開の方向)	○わが国の環境の状況と環境政策の展開の方向の概要を理解する。	
3	第四次環境基本計画Ⅱ (今後の環境政策の具体的な展開)	○重点分野ごとの環境政策の展開, 東日本大震災からの復旧・復興に際して環境の面から配慮すべき事項を理解する。	
4		○放射性物質による環境汚染からの回復等, 環境保全施策の体系を理解する。	
5			
6	第四次環境基本計画Ⅲ (計画の効果的実施)	○政府をはじめとする各主体による環境配慮と連携の強化, 財政措置等を理解する。	
7	総合的環境指標	○第四次環境基本計画 (第 3 部第 4 節) における総合的環境指標を理解する。	
8	後期中間試験		【試験の点数】 点
9	後期中間試験の解答と解説	○分からなかった部分を理解する。	【理解の度合い】
10	第 3 次大分県環境基本計画	○第 3 次大分県環境基本計画の概要を理解する。	【試験の点数】 点
11			
12	大分市環境基本計画	○大分市環境基本計画の概要を理解する。	
13			
14	持続可能な開発目標 (SDGs)	○国連開発計画 (UNDP) による持続可能な開発目標 (SDGs) の概要を理解する。	
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説	○分からなかった部分を理解する。	
履修上の注意	参考図書を各自で事前にダウンロードしておくこと。		【総合達成度】
教科書	特に指定しない。		
参考図書	環境省, 「環境基本計画」, https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/ 環境省, 「環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」, http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/ UNDP, 「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」, http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sdg/post-2015-development-agenda/		
自学上の注意	授業で案内する上記以外の参考図書も利用して自学すること。		
関連科目	都市・環境工学概論, 都市計画, 環境衛生工学, 都市環境		
総合評価	達成目標の (1)~(5) について, 2 回の定期試験で評価する。 総合評価=2 回の定期試験の評点の平均 総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は原則として実施しない。		